

事前評価 各施策に対する意見（協議施策は★印が付いた施策）

基本目標1	誰一人取り残さない！希望あふれるまち「とくしま」の創造
政策1	子どもたちが健やかに育ち、生きる力を育むまちづくり
★施策1	子ども・子育て支援の充実
A	特に、産後ケアの利用者が計画より多くなったことは、支援を求める家庭に寄り添う支援ができていていると思われる。学童保育事業においても新築施設の整備など概ね目標が達成していると思われる。しかし、国が推奨しているコミュニティスクールの開設が遅れていることを見直し、積極的な取り組みが必要ではないか。
B	成果指標のうち、1と市民満足度指標が落ち込んでいるのでB評価とした。 子育て支援については重点事業を見ても充実しているように感じられる。出生数についてはこれから出産や子育てを控えている世代が徳島市に魅力を感じて定住してもらう必要があり、子育て支援を充実させるだけでは増加しないとも感じる。様々な事業との連携が必要では。
施策2	学校教育の充実
B	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、実施できなかった事業が見られるが、やむを得ない。そのような中、次世代を担う若者の育成事業が計画以上の取り組みが出来たことは評価できる。
B	成果指標の3と4については、過年度からの実績値の推移が分からず他の指標については横這いであることからB評価とした。 重点事業については施策に整合するものと感じるが、重点事業⑧の事業目標を給食フェアの開催数にすることには少し疑問を感じる。
施策3	教育環境の向上
B	新しい生活様式も踏まえ、小中学校におけるICT環境整備には、早急にしっかり取り組むことが必要なので今後の進捗状況を見ておきたい。
B	成果指標1は順調に進捗しているが、その他の指標については今後の進捗次第と感じられるのでB評価とした。
★施策4	青少年の健全育成
B	学生メンタルサポーター派遣事業に効果が見られる。しかし実際は、心に課題を持つ子どもたちはもっと多いのではないか。最端までケアが行き届いているか実証する必要があると考えられる。
C	過年度と比較可能な成果指標2と市民満足度指標がともに悪化していることからC評価とした。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

政策2	誰もが生涯にわたり元気で健康に暮らせるまちづくり
施策5	健康づくりの推進
B	コロナ禍においても幼児健診率が向上したことは評価できる。市民が、健康的な生活が出来るという満足度が、そう高くないので、もう少し思い切った事業展開が必要ではないか。
B	ほとんどの成果指標が横這いなのでB評価とした。 成果指標の1から3については、個人的に受診している方もいると考えられるのでこの実績のみで評価することは難しいと感じる。 重点事業は施策に合致したものと感じるが、成果指標4や5がやや悪化しているのが気になる。
★施策6	社会保障の充実
A	各事業で概ね取り組み目標が達成できている。
B	成果指標2, 4は横這い、5は順調に進捗しているように感じられる。3については実績値が大きく伸びているが新型コロナウイルスの影響ということもあり例外的に考えたい。全体的には概ね順調と感じられB評価とした。 重点事業3については、相談件数も非常に多い中、事業目標にかなり近い数値を残せたことを高く評価したい。
★施策7	地域医療の充実
A	市民満足度指標以外の成果指標については比較的順調に進捗していると感じられA評価とした。
B	間接治療や癌治療において、新しい機械の導入など患者に有益な事業が出来ている。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

基本目標2	多様性を認め合える！個性あふれるまち「とくしま」の創造
政策3	誰もが自分らしく安心して暮らせる共生社会を実現するまちづくり
施策8	地域福祉の充実
B	成果指標は、概ね向上傾向にある。 市民一人ひとりが地域福祉の支え手となるためにも、ボランティアとそのコーディネーターの育成が急務である。
B	順調な成果を得られている
施策9	高齢者福祉の充実
B	成果指標の中には、前年より低下しているものもあるが、認知症サポーター養成総数が増加傾向にある点は評価したい。人生100年時代を迎え、フレイルへの対応も大きな課題と考える。
B	おおむね順調なとりくみ
施策10	障害者福祉の充実
B	障がい者福祉については、本人と家族両方に対するサポートが必要であり、数字には出てこない部分も多い。 市として、就業支援や見守りネットワークづくりには、力を入れて頂きたい。
B	
施策11	人権尊重・多文化共生社会の実現
B	意識向上や啓発に関する成果指標の設定が難しく、研修回数やイベントの参加者数に目が向きがちだが、そもそも徳島市が目指す多文化共生社会とはどのような社会なのかを具体的に説明することが必要ではないだろうか。(ダイバーシティ先進市ととくしまを目指すことが大切！)
B	啓発事業の一部オンライン化の検討 視聴している団体の活性化が必要
施策12	男女共同参画社会の実現
B	全方位型の施策が多いと感じる。ジェンダーフリーあるいはダイバーシティの包摂を目指すためには、経済活動、労働、意思決定への参画、教育など具体的に対象とする分野を絞った具体的取組が必要ではないだろうか。
B	おおむね満足いくとりくみ

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

政策4	市民一人ひとりがいきいきと輝くまちづくり
★施策13	文化芸術活動の振興
A	文化ホール事業に一定の進捗がみられ、駅前にぎわい作り計画との整合性もとれているコンテンツの誘致に期待する
B	コロナ禍にあって、文化芸術活動の実施が困難な中でも、工夫されて活動の歩みを止めない状況に敬意を表したい。施策に即効性はないが、心を育む施策として大切にしていきたい。
施策14	スポーツ・レクリエーション活動の振興
B	コロナ禍の影響を受け、本来の事業が実施できていない為、評価することが難しい。スポーツの楽しみ方、スポーツ習慣は近年個人差が大きく、行政の関与スタイルも見直しが必要である。
B	予約システムの評価…移行割合で測る デジタルデバイドは考慮されたシステムにすべし
施策15	生涯学習の推進
B	生涯学習の拠点整備事業との関連も大きい為、地域における学びと交流の促進とともに、若い世代や現役世代が参画できる生涯学習の推進スタイルを考えなければならない。
B	社会教育②への数のびないのは工夫(なかみ、時間etc)不足では？
★施策16	地域自治・協働の推進
A	協働事業の数のびなやみに工夫必要
B	各地域の自立・自律による「地域力アップ」は、「自分たちの地域は、自分たちの手で守り築く」為に必須である。また、NPOの数も減少気味だが、NPOの経済的自立も課題である。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

基本目標3	強靱で未来へと続く！ 安心あふれるまち「とくしま」の創造
政策5	市民の生命や安全な暮らしをまもるまちづくり
施策17	防災・減災対策の強化
B	成果指標のうち、実績値が減少したものが2つ、横ばいのものが3つである。ただし、COVID-19拡大の影響と、今後の目標値の達成可能性を考慮し、B評価とした。
B	コロナ感染拡大防止のなか、可能な事業に取り組んでいる。重点事業②では事業を中止するのではなく「新型コロナウイルス等感染症対策」として訓練を実施したのは良い。重点事業③でも次年度以降の準備がされている。災害は人の都合に合わせてくれないので、可能なことを探して少しでも事業を進める努力は重要である。
施策18	消防・救急体制の充実
B	成果指標のうち、1つの指標で実績値が増加している。その他2つの指標で実績値が前年より悪化しているものの、COVID-19拡大の影響を考慮してB評価とした。 なお、成果指標については、(質の高い消防サービスの帰結として)例えば、住宅火災発生件数等の指標も検討の余地があると思われる。
B	重点事業①はコロナ禍のなか、可能な取り組みを実施しているためB評価で良いのではないかと。重点事業③の「事業の効果検証」記述からは実施の努力が認められない。事業⑥については、一般の大学生は興味を持たない。大学の防災関連講義との連携を図ったり、入団のメリット(例えば就職活動にプラスとなるような特典)を設けるなど積極的な働きかけが必要である。
施策19	生活安全の推進
B	成果指標のうち、2つの指標で実績値に進捗がみられる。しかし、成果指標の刑法犯認知件数および交通事故発生件数の集計期間と、重点事業の実施期間にズレがある。令和2年度の重点事業が、令和1年(暦年)の成果に結びつくことは想定できないため、重点事業による成果という点では評価不可能である。とはいえ、成果指標自体に進捗がみられることを考慮し、B評価とした。
B	コロナ感染拡大防止のなか、可能な事業に取り組んでいる。オンラインの活用なども検討しているようなので是非取り組んで欲しい。
★施策20	生活道路の整備
A	重点事業によって評価が異なる。例えば重点事業⑤は調査研究であるからB。重点事業⑥では財源確保の点からBという具合である。重点事業⑤の場合、調査研究内容について具体的な記述がないので判断できないが、実施できたのであればAで良いし、重点事業⑥では自転車通行空間の整備が達成できているのであればAで良いのではないかと。事業目標として明記していない部分が評価の鍵になっているのは他の事業との比較において公正な評価が困難になるので避けるのが良いと考える。
B	成果指標のうち、3つの指標で実績値が増加している。しかし、成果指標の集計期間と、重点事業の実施期間にズレがある指標があり、それらは重点事業による成果という点では評価不可能である。とはいえ、成果指標自体に進捗がみられることを考慮し、B評価とした。
★施策21	上水道の整備
A	成果指標のうち、実績値が増加したものが2つ、横ばいが1つ、減少が1つである。COVID-19拡大の影響、また、今後の目標値の達成可能性を考慮し、A評価とした。
B	各重点事業ともほぼ目標を達成している。今後施設の老朽化や人員不足が懸念されると思われるので確実な事業実施を期待したい。
施策22	雨水対策の推進
B	成果指標のうち、実績値が増加したものが1つ、横ばいが1つ、減少が1つとなっている。COVID-19拡大の影響も考慮しB評価とした。
B	コロナ感染拡大防止のなかで事業が中止されたものもあるが、ほぼ目標を達成できている。事業の推進には時間と費用がかかるので確実な実施を期待したい。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

政策6	豊かな自然環境と快適な生活環境が充実した住みやすいまちづくり
施策23	環境の保全と向上
B	成果指標のうち、2つの指標で実績値に進展がみられる。しかし、成果指標の集計期間と、重点事業の実施期間にズレがある指標があり、それらは重点事業による成果という点では評価不可能である。とはいえ、成果指標自体に進捗がみられることを考慮し、B評価とした。
B	コロナ感染拡大防止のなか、可能な事業を模索して実施している。努力を評価したい。
施策24	循環型社会・廃棄物処理の推進
B	成果指標のうち、2つの指標で実績値に減少がみられる。また、成果指標の集計期間と、重点事業の実施期間にズレがあり、それらは重点事業による成果という点では評価不可能である。とはいえ、COVID-19の影響を考慮しつつ、B評価とした。 なお、施策の目指すべき姿にある「新たな一般廃棄物中間処理施設の整備が進み、廃棄物を適正に処理する環境が整っています」に対応する成果指標がなく、事業進捗に関する指標設定の必要性がある。
B	重点事業⑤の進捗が芳しくない(評価C)が、長期間使用する施設であるため防災・環境保全などの視点から問題が発生しないよう十分な調査、地域住民との調整を行う必要がある。 徳島市の一般家庭からのゴミ出しの方法はスマートでない。ゴミステーションを整備してカラスや野良犬・猫によるゴミ散乱を防止することが必要ではないか。
★施策25	環境衛生の向上
B	重点事業②と重点事業③の評価がCとなっているが、共に計画値に対する実績値は80%を超えているのでBで良いのではないか。重点事業②の目標の記述方法は正確でなく、「飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の助成補助率の使用率」が良い。
C	成果指標のうち、狂犬病予防注射接種率の実績値は横ばいであり、所見として目標値の達成可能性が低い可能性が示唆されている。また、成果指標の集計期間と、重点事業の実施期間にズレがあり、重点事業による成果という点では評価不可能である。さらに、猫に関する直接的な成果指標の設定がない。COVID-19の影響を考慮しつつも、C評価とした。
施策26	汚水対策の推進
B	成果指標のうち、実績値が増加したものが2つ、減少が1つである。COVID-19拡大の影響、ならびに今後の目標値の達成可能性を考慮し、B評価とした。
B	コロナ感染拡大の影響を受けている事業もあるのでB評価となっているが、下水道は生活環境の改善・保全や内水災害防止に欠かせない社会インフラであるので、着実に実施できるよう予算の確保と綿密な計画が必要である。
施策27	多機能な都市空間の創出
A	成果指標のうち、実績値が増加したものが2つ、減少が2つである。ただし、COVID-19拡大の影響がみられること、また、今後の目標値の達成可能性を考慮し、A評価とした。
A	コロナ感染拡大の懸念の影響を受ける重点事業①、③は目標を上回る実績となった点は大きく評価したい。他の施策でも活用できるノウハウがあれば情報の共有化を図って欲しい。
★施策28	住環境の整備
A	重点事業①～③まで計画をほぼ達成している。重点事業②の評価はBであるが、達成度は99.6%なのでAで良いのではないか。
B	成果指標のうち、実績値が増加しているものが1つある。その他2つの指標については、経年の実績値がなく評価しにくい。また、空き家除去数については実績値の集計期間が令和1年のものである。COVID-19拡大の影響を考慮しつつ、B評価とした。 なお、成果指標の「危険な空き家の除去数」は、空き家数全体に占める除去率などに変更した方がよいのではないかとと思われる。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

基本目標4	地域経済を牽引する！ 活力あふれるまち「とくしま」の創造
政策7	市民の豊かな暮らしと社会を支える経済基盤を確立するまちづくり
施策29	農林水産業の振興
B	<p>成果指標が達成できている事業があるものの、コロナ禍の影響を受けて停滞したものもある。しかし、市の工夫や努力がみられ、今後に期待できる基盤を作りつつある。なお、成果指標のうち、認定農業者数については、若い担い手を確保するための検討をするとともに、地道に声掛けする必要があるのではないかと。</p>
B	<p>成果指標の実績値は概ね順調に進捗しており、目標値を達成できそうな見込みであるため評価をBとした。</p> <p>目指すべき姿の「国内外に向けた新たな販売ルートを有する」について、国内外を問わず、販路開拓および販売チャネルの多様化についての施策や指標を加えてはどうか。</p>
施策30	地域産業の振興
B	<p>約半数の重点事業が、コロナ禍の影響を受けており進捗が難しくなっているものの、成果指標の達成に向けて可能な範囲での努力が見られる。なお、企業誘致については、地域経済への波及効果が大きいと期待されるので、積極的に取り組んでほしい。また、創業支援についても、雇用創出の期待もあるので小さな起業を含め、企業内新規事業創出支援についても丁寧に対応し促進してほしい。</p>
B	<p>各重点事業が概ね順調に推移しているためB評価とした。</p> <p>目指すべき姿の「新たなビジネスモデルによるイノベーションの創出」「働き方改革」「生産性向上」等については、成果指標の達成で実現できるのか再考する必要はないか。各事業を点としてではなく、面として連携・補完しながら推進することが望まれる。</p>
★施策31	商業・サービス業の振興
B	<p>現状の重点事業はもちろん必要であるが、それだけでは不十分。商店街への人流、にぎわいについては、公共交通の充実や駐車場問題など様々な要素を勘案しなければ目標達成は難しいと思われる。中央卸売市場等、施設の整備は老朽化やBCPの側面を十分に考慮したうえで進めてほしい。</p>
C	<p>ほとんどの重点事業がコロナ禍の影響を受けざるをえず、成果指標を見ても進捗状況が停滞している。なお、魅力的な商業地の形成については、特に市民の関心も高く、一層の工夫と努力が必要といえるのではないかと。</p>
施策32	働く環境づくりの推進
B	<p>ほとんどの成果指標がゆるやかな上向きの実績値となったが、それぞれコロナ禍の影響を受けており、目指すべき姿の実現に向けて十分な進捗とは言えないのでB評価とした。なお、多様な働き方の推進については、今後ますます求められ、女性や若者、高齢者の活躍のためにも工夫を重ねて進める必要があるのではないかと。</p>
B	<p>成果指標の実績値が順調に推移しているため評価をBとした。成果指標3は、整備だけではなく適正に制度利用できているかが最も重要であることを踏まえて事業を継続してほしい。また、目指すべき姿「若者等が地元で就職することを希望」については、地元大学の県内就職率や定着率、Uターン状況等、何らかの指標を加えてはどうか。</p>

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

政策8	まちのにぎわいと人の流れを創出するまちづくり
★施策33	人等が集う求心力の高いまちづくりの推進
A	<p>おおむね成果指標の実績値は上向きとなっており、達成に向けて有効な重点事業が推進されていると見られA評価とした。なお、成果指標の移住者数とふるさと納税の寄付金額については、順調に増えつつあるので、その動きを加速させるべく尚一層の工夫と努力を検討していく必要があると思われる。</p>
B	<p>成果指標に一定の動きが見られ、目指すべき姿との関連性もあることから、B評価とした。コロナの影響で、地方部への注目が高まっている。テレワークや2拠点生活等、多様化するニーズに柔軟に対応するほか、要望や情報をワンストップ化し、適切に管理・提供してほしい。外部環境等の変化に合わせ、年度途中で臨機応変に見直せる体制づくりが求められる。</p>
施策34	コンパクトで機能的なまちづくりの推進
B	<p>成果指標については、一部達成が難しい状況にあるものの、重点事業については工夫と努力が見られ、全体的に向上の期待が見込まれることからB評価とした。なお、成果指標のうち、特に中心市街地の活性化については、特色ある地域づくりに向けてさらなる新しいインパクトのある取り組みが必要なのではないか。</p>
B	<p>成果指標の進捗がある程度順調なため評価をBとしたが、重点事業は計画の策定や調査段階のものが多く、成果指標に影響を与えているか判断しかねる。「中心市街地に居住を促す」ことに関しては、現状の実態に即していない印象がある。目指すべき姿の「適正な土地利用」について、中心市街地以外をきちんと住み分けをし、市全体をどのようにゾーニングしていくのが重要。</p>
★施策35	観光・交流の促進
B	<p>成果指標の達成に向けてはコロナの影響が大きく、令和二年度の実績値は事業推進の上で参考にならないが、個別の重点事業ごとに見ると順調な項目もあるためB評価とした。 全体として、阿波おどりへの依存度が高く、開催については天候要因で左右されるため、阿波おどり以外の魅力を打ち出すことが必要。その際、徳島市を認知している人、していない人への対策はそれぞれ異なることから、両輪で考える必要がある。また、オンラインでの会議やセミナーが一般化しつつある中、コンベンション開催等もコロナ前の状態には戻らない可能性など、様々なことを想定・検討することが求められる。</p>
C	<p>すべての成果指標においてコロナ禍の影響を受けざるをえなかったものの、可能な範囲で次に向けての地道な努力が見られるが、実績値が芳しくない結果となり、改善が必要と考えC評価とした。なお、成果指標の観光客入込数の今後の増加に向けて、影響が大きいと見られる次の阿波踊りについて新たな検討が必要であると考えられる。</p>
★施策36	文化財の保存と活用
A	<p>重点事業が進んでおり、成果指標の達成につながっていくものと思われるため、A評価とした。目指すべき姿の実現に向け、基盤が整いつつあると思う。今後も計画に則り、積極的に推進してほしい。</p>
B	<p>成果指標において、実績値は大きな動きは見られなかったが、文化財を活かしたまちづくりの推進に向けて地道な努力が継続されていると考えB評価とした。なお、さらなる文化財の活用に向けて、新しい取り組みを検討してほしい。</p>

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である